

No. 763

北海道の秋

219

すっかり秋の気配の濃くなった北海道。短かった夏を惜むかのように牧場の日だまりに群れつどって草をはむ牛。カウボーイスタイルの牧童がもう冬支度を始めるのか、忙しげに駆けまわっていました。北海道の涼しい夏を慕って訪ずれていた観光客もあたふたと姿を消してゆきます。函館からバスで一時間のところにある大沼公園は早くも店仕舞い。だが、いまあわただしくも、つかの間の北海道の秋は見事な美しさの中にあります。

ただいま宿題追込み中

147

夏休みも残りあとわずかになってしまいました。夏休み天国をきめ込んでいた子ども達は大あわて、お母さんと一緒に町の宿題塾に駆け込みます。宿題の心配は子どもよりお母さんの方で、塾でもお母さんが思わず手を出してしまうほどの熱心さ、これでは宿題の効果もどうかと思われます。楽あらば苦あり、子ども達は残暑の中で宿題に汗を流していました。

カメラ・スケッチ

駐車戦争

208

車は走っている時より、止る時の方が大変なのである。スイスイと車が走る高速道路、その下の道では車がひしめき合い一寸も動かない。なんという二重構造。まるで天国と地獄である。狭い道にはいたるところ駐車禁止地帯。その狭い道に強引に駐車する車の群。狭い道をいっそう狭くしている。そして取り締りの追っかけて、マイカーで出勤する人達は出勤時間の3時間も前の6時頃から会社の前の駐車場にすべり込む、なんとも涙ぐましい出勤風景である。